業務名（業務コード）			貨物確認情報登録（ＰＫＧ）																									端末仕様（参考）				
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2	条件													コード	入力条件／形式	EL	R	履歴	PM	既定値
1		入力共通項目		an	398			M																								
2		到着便名１	FL1	an	6			M														（１）航空会社コード＋フライト・ナンバーを入力 （２）フライト・ナンバーについては、３桁または４桁の入力が可能。４桁目については、英・数記号が可、それ以外は数字とする。 （３）システム外税関空港から保税運送されてきた貨物のうち、仮陸揚貨物情報を登録する場合は、「ＺＺ」＋他空港向一括保税運送承認番号を入力 （４）要目録訂正貨物の場合は、「ＺＺ」＋要目録解除番号を入力					
3		到着便名２	FL2	an	5			M														便名の日付部を以下の形式で入力 ＤＤＭＭＭ	○				
4		保税蔵置場	HWH	an	5			C													保税地域コード	（１）他所蔵置場所へ取卸す場合は、他所蔵置場所コードを入力 （２）入力者が保税蔵置場の場合は、入力不可。ただし、他所蔵置場所へ取卸す場合は除く （３）入力者が航空会社の場合で、仮陸揚貨物、他空港向一括保税運送貨物、航空会社保税蔵置場向け社用品または他空港向一括保税運送仮陸揚貨物の場合は省略可 （４）到着即時輸入申告扱い用の蔵置場所は入力不可					
5		ＵＬＤ収容貨物表示	ULS	an	3			C													ＩＡＴＡ空港コード	（１）ＵＬＤ収容の他空港向一括保税運送貨物の確認入力の場合のみ、ＡＷＢ情報登録業務で登録された到着空港を入力 （２）入力者が航空会社の場合は、入力不可 （３）他所蔵置場所へ取卸す場合は、入力不可					
6		差日数	SNS	an	2				C													（１）ＵＬＤ収容の他空港向一括保税運送貨物で到着年月日と入力年月日が異なった場合は、その差日数を正負の符号付きで「－９」から「９」まで入力 （２）入力者が航空会社の場合は、入力不可 （３）他所蔵置場所へ取卸す場合は、入力不可		○			
7		無料期間適用表示	MTH	an	1			X	~~C~~													~~（１）保管料の無料期間を適用しない場合は、「Ｎ」を入力~~ ~~（２）入力者が航空会社の場合は、入力不可~~ ~~（３）他所蔵置場所へ取卸す場合は、入力不可~~					
8	10	ＡＷＢ番号	AWB	an	20			M														（１）ＡＷＢの場合は、ＡＷＢ番号を１１桁以内で入力 （２）ＵＬＤの場合は、ＵＬＤ番号を１４桁以内で入力 （３）先頭３桁が「ＸＸＸ」の場合は、処理対象外とする					
9	＊	ＵＬＤ表示	ULD	an	1				C													（１）ＵＤＡ業務で仕分けたＵＬＤインタクト貨物の場合は、「Ｉ」を入力 （２）ＵＤＡ業務で仕分けたバラ貨物の場合は、「Ｌ」を入力 （３）ＵＬＤの場合は、「Ｋ」を入力					
10	＊	個数	PCS	n	6				C													（１）ＵＬＤの場合は、入力不可 （２）バラ貨物がない場合は、「０」を入力		○			
11	＊	重量	WGT	n	8				C													（１）ＵＬＤの場合は、入力不可 （２）個数に「０」が入力された場合は、入力不可 （３）整数部６桁、小数部１桁		○			
12	＊	重量単位コード	JTI	an	3					C											重量単位コード	（１）ＵＬＤの場合は、入力不可 （２）省略した場合は、上位欄の重量単位コードを引き継ぐ ＫＧＭ：キログラム ＬＢＲ：ポンド					
13	＊	チェックデジット不要表示	CDT	an	1				C													（１）チェックデジット不要の場合は、「Ｎ」を入力 （２）ＵＬＤの場合は、入力不可					
14	＊	特殊貨物記号	SPC	an	3				C												ＳＰＣ（特殊貨物）コード	ＵＬＤまたはＵＬＤインタクト貨物の場合は、入力不可					
15	＊	事故貨物	DMG	an	5				C												事故コード	（１）複数の事故がある場合は、代表とするものを入力 （２）税関届出を必要とする事故は、先頭１桁目に「Ｚ」を入力 （３）税関届出を必要としない民間の事故は、入力自由 （４）ＵＬＤまたはＵＬＤインタクト貨物の場合は、入力不可					
16	＊	生鮮食料品識別コード	CCD	an	2				C												生鮮食料品識別コード	ＵＬＤまたはＵＬＤインタクト貨物の場合は、入力不可					
17	＊	手作業記号	MST	an	1				C													（１）ロケーション管理を手作業で行う場合は、「Ｍ」を入力 （２）ＵＬＤまたはＵＬＤインタクト貨物の場合は、入力不可 （３）他所蔵置場所への搬入の場合は、入力不可					

＜2012.08修正＞

業務名（業務コード）			貨物確認情報登録（ＰＫＧ）																				端末仕様（参考）				
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2	条件													コード	入力条件／形式	EL	R	履歴	PM	既定値
18	*	ロケーション	LOC	an	80				C													（１）以下の形式で入力 ロケーション、符号「，」、個数 例）ＡＢＣ，個数 ①ロケーション：３桁以上の英数字 ②個数：６桁以内の数字 ③単独ロケーション入力の場合、個数は省略可 ④複数ロケーション入力の場合、ロケーションと個数は対となっていること ⑤ロケーションと個数は「，」で区切ること （２）特殊貨物ロケーションコード（保管料対象）の場合 ロケーション（３桁）、符号「，」、個数 例）ＶＡＬ（個数の省略可） ＶＡＬ，個数（複数ロケーション入力可） ＶＡＬ／ＡＢＣＤ，個数（「／」以降は自由入力） （３）ＳＰ貨物の場合は、先頭２桁に″ＳＰ″を入力 例）ＳＰＸ（３桁で入力） （４）特殊貨物ロケーションコードは、５種類以内であること （５）スプリット貨物の場合、保税蔵置場単位のロケーション桁数の合計が８０桁以下であること。 （６）ＵＬＤまたはＵＬＤインタクト貨物の場合は、入力不可 （７）他所蔵置場所への搬入の場合は、入力不可					

＜2012.08修正＞